

(別紙5)

補助事業番号 27-1-108  
補助事業名 平成27年度 青少年の健やかな成長を育む活動 補助事業  
補助事業者名 公益財団法人麻薬・覚せい剤乱用防止センター

1 補助事業の概要

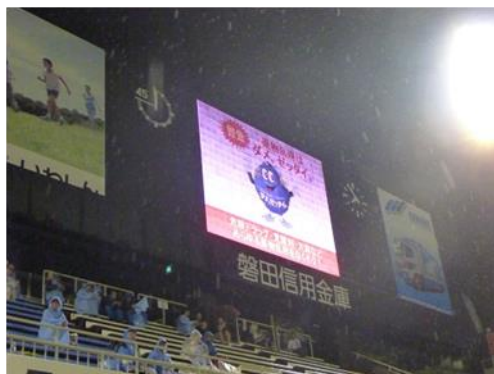
(1) 事業の目的

薬物乱用の防止を図る上で、まだ薬物を使用したことのない青少年に対して薬物乱用による精神的・身体的危害の恐ろしさを普及啓発することは最も効果があるといわれていることから、青少年に対して覚醒剤、危険ドラッグ等の薬物乱用が非常に危険であり、手を出してはならないというメッセージを効果的に伝えるため、球場での映像放映による端的なメッセージの伝達と情報誌による薬物乱用防止指導員からの個別の情報伝達の質の向上を目的とする。

(2) 実施内容

青少年薬物乱用防止のための啓発広報事業

- ・「ダメ。ゼッタイ。」普及運動の啓発メッセージ映像（60本）を製作し、日本プロサッカーリーグ（J1、J2、J3の一部）及びプロ野球機構に配布した。



※サッカー会場での放映

- ・情報誌「ニュースレター」の発行

(<http://www.dapc.or.jp/newsletter/no93/no93.pdf>)

ニュースレター第93号（2015. 8）を発行（20,000部）し、全国の薬物乱用防止指導員、各都道府県、関係省庁、関係団体等に配布した。

(別紙5)

2 予想される事業実施効果

青少年薬物乱用防止のための啓発広報事業

- ①啓発メッセージ映像を「ダメ。ゼッタイ。」普及運動の期間中に各試合会場で放映したことにより効果的なキャンペーンを行うことができたので、薬物乱用防止に関する青少年の意識の高まりが期待される。
- ②ニュースレターの発行・配布により、各地域で活動する薬物乱用防止指導員等の啓発活動技能の向上を図ることができたので、今後とも、これら指導員等の活発化が期待される。

3 補助事業に係る成果物

(1) 補助事業により作成したもの

「ダメ。ゼッタイ。」普及運動の啓発メッセージ映像 60枚



(別紙5)

■ 啓発メッセージ映像 30秒



恐ろしい危険ドラッグが  
若年層を襲っています。



たつたは薬でも使うと  
やめられなくなります



薬物乱用は  
「ダメ、ゼッタイ。」



愛する自分を  
大切に

■ 啓発メッセージ映像 30秒



世界の子どもたちを守る



国連支援基金へのご  
協力をお願いします



※おじぎする

※おじぎする

公益財団法人 東京都青少年の健全な育成とセンター  
薬物乱用防止推進員  
若年層  
都立病院  
日本アソシエーション・グループ(アソグ)  
日本野鳥保護会

(別紙5)

ニュースレター第93号 20,000部

<http://www.dapc.or.jp/newsletter/index.htm>



#### 4 事業内容についての問い合わせ先

団体名： 公益財団法人麻薬・覚せい剤乱用防止センター（コウエキザイダンホウジンマヤクカクセイザイランヨウボウシセンター）

住所： 〒105-0001

東京都港区虎ノ門2-7-9 第一岡名ビル2階

代表者： 理事長 井村伸正（リジチョウ イムラ ノブマサ）

担当部署： 総務部（ソウムブ）

担当者名： 総務部長 白井正夫（ソウムブチョウ シライマサオ）

電話番号： 03-3581-7436

F A X： 03-3581-7438

E-mail： [shirai@dapc.or.jp](mailto:shirai@dapc.or.jp)

U R L： <http://www.dapc.or.jp>